

## 君たちはどう生きるか

今春、スタジオジブリの「君たちはどう生きるか」という話題作が、数々の賞（第96回アカデミー賞、第81回ゴールデングローブ賞）が受け、暗いニュースの続くなか、アメリカメジャーリーグ大谷翔平さんと共に私たちの明るい元気の出る話題となっております。

この作品は、中学2年生の主人公が、叔父さんとの交換ノートによる対話を通じて、社会や生きることの意味について考え、人間的に成長していくというものです。この作品に登場するアオサギは、海外では縁起のいい鳥とされ、意識と潜在意識の間を行き来できるスピリチュアルな存在で、古代エジプト神話には、生と死をくり返すベンヌ(ベヌウ)という名前のアオサギが登場します。



ちなみにアオサギは、町内の至る所で見ることが出来ます。

時代が変わったのかどうか分かりませんが、最近、親が幼い子どもを殺したり、逆に子どもが親や兄弟を殺したりとの事件が横行しているように感じます。子どもが親を殺すのは、やはり高齢化社会になり介護等の問題が大きく影響してるのではないのでしょうか。

一方、親が子どもを殺したり傷つけたりするのは、どうなのでしょう。

貧しかった昭和の時代には、子どもたちは地域の怖いおじさんや優しいおばさんたちに暖かく見守られていたように感じます。

コミュニティはなくなりつつある現在、近所には怖いおじさんや優しいおばさんはいなくなったのではないのでしょうか。「秋深し 隣は何をする人ぞ」で、近所付き合いも希薄となってきております。

かつて、町内には子ども会、親子会、婦人会、青年団等の絆を深める団体・組織がありました。

今、そのような組織・団体は少なくなってきております。また、地域のコミュニティ組織である自治会も未加入者が増加し、かつての機能は失われつつあります。

幼い子どもの自殺事案も増加しております。子どもたちは子どもたちなりに色々な悩みを持っておりますが、それを伝える先、そしてその受け皿は整っているのでしょうか。悩み相談室等は形の上では整備されておりますが、果たして機能しているのでしょうか。そんな思いがあります。

過日、中日新聞に「**よりそうことが必要**」というタイトルで、ある小学6年生の投稿があり、



日本での年間の自殺者数は約2万人で、小・中学生と高校生は2022年に過去最多の514人となった。

どうして子どもの自殺は増えているのか？自殺した子どもの状況を見ると「不明」が一番多かったもののそれ以外は家庭不和、進路問題、保護者の叱責、友人関係、いじめの順だった。原因は何であれ、つらい気持ちを少しでも和らげることができたら自殺を思いとどまる子どもはかなり増えた気がする。

ここから、学校での自殺予防教室がとても大切になってくると考えた。

もし身近にいる人がつらそうにしていたら、声をかけて、よりそうようにすることが大切なのではないだろうか。少なくともそんな場面にそうぐうしたら、自分はそうしていきたいと思っている。みなさんも、周囲に気を配るようにしてください。

とこんなこと考えて呼びかけているのだから、大人はこの気持ちを受け止め、子どもたちに**よりそう**必要があるのではないのでしょうか。

## 歴史ある街道と花のある町への憧れ

昨年の小俣小学校6年生との意見交換の場で小俣町を「自然に優しい町にしたい」とか「花や木がたくさんある自然に優しい町づくりをしたい」との声があり、そうすることで「花壇や公園に花や木を植えることで緑が増えていい町ができるのでは、との提言がありました。

隣町の明和町では、小俣町内と繋がっている「伊勢街道」の整備がなされ、街道にはまちかど博物館や色んな施設があり、軒先には花も飾られています。

明和町から続く小俣町の伊勢街道沿いにもかつての風情ある民家もあり、ところどころに軒先に花が植えられているフラワーポットを見かけます。そして、絵



に描きたいような季節の花を飾られたお家もありますが、明和町に比べると殺風景なのは否めません。もっとも明和町の場合、国や町の関わり・支援も沢山あって充実しているのだと思いますが、寂しいものです。小俣町は伊勢市と合併し、伊勢市となったので、小俣町単独の事業は難しく、また、災害対策等優先順位の高い事業が優先され、このような事業はどうしても後回しになるのはやむを得ないとは思いますが…そりゃそうやけどなあ、でもな、と言いたいですね。



まちづくり協議会もこの花いっぱいの町づくりを目指して活動しておりますが、予算もマンパワーも脆弱で明和町のようにいきません。しかし、「市民花壇」の整備・充実を通して、この活動が住民皆さまの美しい町づくりへのモチベーションを高めることになればと考えておりますので、一緒にこの町を花いっぱい、自然いっぱいの町にしようではありませんか？

**まずは、一緒に「市民花壇」を充実させましょう！**

## 特殊詐欺等被害防止機器購入の際の補助金

一向に減少しない振り込め詐欺等に対する防止策の一つとして、伊勢市から特殊詐欺等被害防止機器を購入した場合に補助金が出ますよ。

対象は、「市内に住民登録のある65才以上の人(令和6年度中に65歳になる人を含む)」で、補助金額は、本体購入価格(税込み)の2分の1(上限は6,000円で、100円未満の端数は切り捨て)ということです。

詳しくは、危機管理課にお問い合わせください。



## 編集後記

桜も散り、まもなく葉桜、待ち遠しかった新緑の季節がやってきます▼新しい生活のスタート、夢と希望を持った学校・職場の新1年生、頑張ってください▼「元気があれば何でもできる」Dream Come Trueです。夢は叶います▼新型コロナは日常の生活から消えつつあるけど、油断大敵▼北陸地方にはまだ「春」は遠いようですが、確実に「春」はやってきますよ！

## 小俣まちづくり協議会

〒519-0505 伊勢市小俣町本町3番地 小俣町合同会館内

☎ 0596-65-7788 Fax 0596-65-7789

E-mail [obata.com@chorus.ocn.ne.jp](mailto:obata.com@chorus.ocn.ne.jp) URL <http://obatamk.sakura.ne.jp>

(事務局オープン時間帯 原則 月～金の午前9時～午後0時00分)